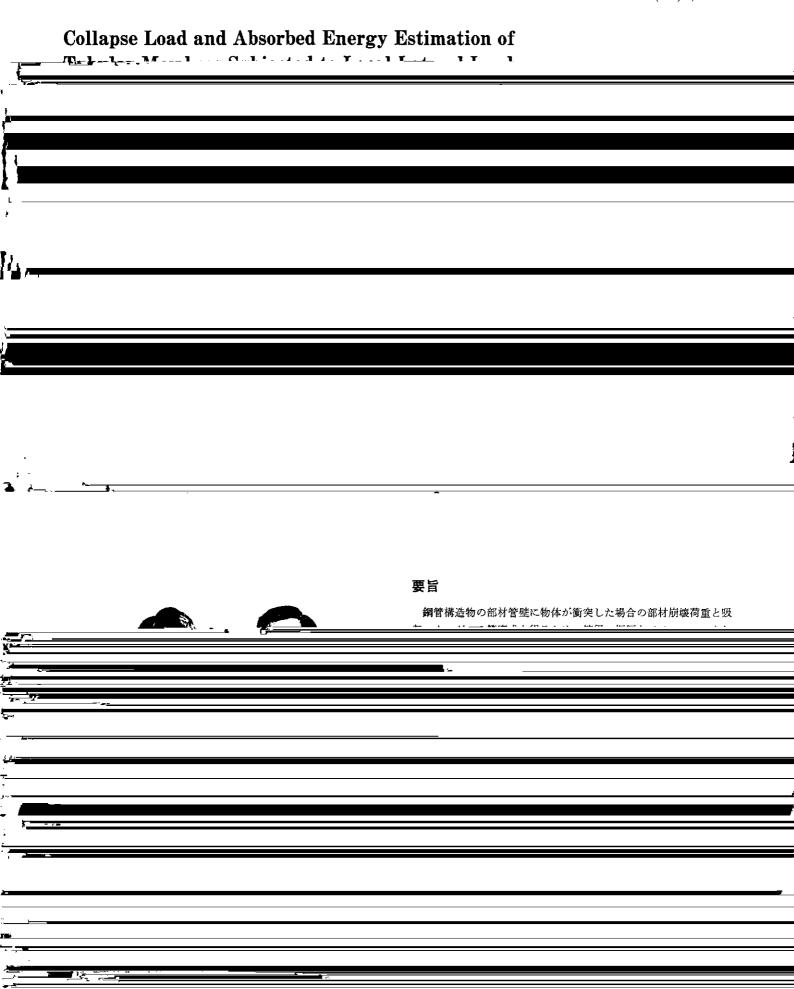


## 局部荷重を受ける鋼管部材の耐力と吸収エネルギー\*

川崎製鉄技報23 (1991) 1,56-60



57 局部荷重を受ける鋼管部材の耐力と吸収エネルギー Table 1 Dimension of test specimens and estimated values of k in Eq. (10) ŧ. Ĩ

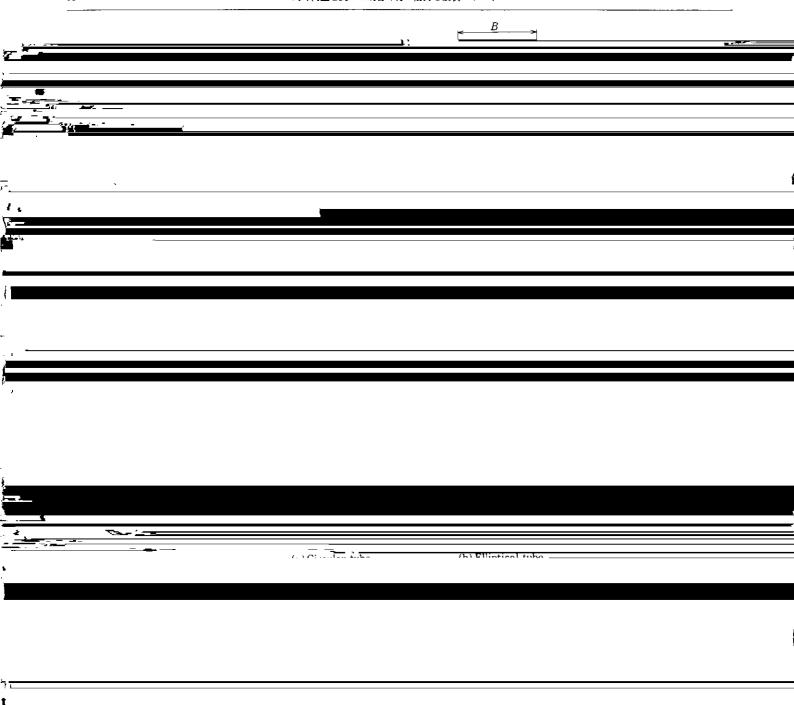


Fig. 4 Geometries

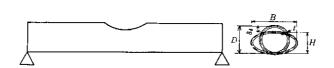


Fig. 5 Steel tube with local dent depth  $\delta_d$ 

仮定し、鋼管材料は完全塑性体と仮定すると、荷重Pとへこみ変位  $\delta_a$  の関係は次式によって与えられる $^{60}$ 。

$$P = \frac{1}{4} \times K \sigma_y t^2 (\delta_d/D)^{1/2} \dots (1)$$

ここに、K は定数、 $\sigma_{y}$  は鋼管材料の降伏応力、t は鋼管の板厚、D は鋼管の平均径である。

まま ステスが取って 子間面をレフニチャポープニュ

